

令和6年 9 月定例会記者会見(令和6年 8 月 22 日)
市長原稿(議案関係)

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。それでは、はじめに 8 月 29 日開会の裾野市議会 9 月定例会に提出いたします議案につきまして、ご説明申し上げます。

提出いたします議案は、認定 9 件、報告1件、条例3件、補正予算7件、その他 7 件の合計27件です。

はじめに、認定第1号 令和5年度裾野市一般会計歳入歳出決算につきましてご説明申し上げます。

お手元の資料「令和5年度決算の概要」をご覧ください。

一般会計の歳入決算額は212 億 1,542 万 2,000 円で、前年度に比べ 0.9%、2 億 181 万 3,000 円の減額となりました。歳出決算額は 201 億 7,690 万 8,000 円で、前年度に比べ 0.5%、1 億 742 万 4,000 円の増額となりました。

歳入歳出差引額は10 億 3,851 万 4,000 円で、翌年度に繰り越すべき財源、1 億 3,675 万 8,000 円を控除した実質収支額は、9 億 175 万 6,000 円となりました。このうち、4 億 6,000 万円を地方自治法の規定により、財政調整基金に積み立てることにいたしました。

歳入決算額が減額となった主な要因としましては、市税のうち法人市民税が 2 億 3,605 万 1,000 円の減、法人事業税交付金が 4,636 万 8,000 円の減、地方消費税交付金が 3,815 万 3,000 円の減、地方交付税のうち普通交付税が 5 億 2,221 万 5,000 円の減、国庫支出金のうち物価高騰緊急支援給付金が 1 億 6,533 万円の減、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金が 1 億 3,114 万 7,000 円の減、市債のうち臨時財政対策債が 2 億 6,068 万 8,000 円の減、土地区画整理事業費が 6,450 万円の減となったことなどが挙げられます。

歳出決算額が増額となった主な要因としましては、低所得世帯支援給付事業費が 3 億 1,076 万円の増、自立支援給付費が 1 億 385 万 2,000 円の増、幼児教育施設等補助給付費が 1 億 23 万 9,000 円の増、道路橋梁災害復旧費が 1 億 1,757 万 8,000 円の増となったことなどが挙げられます。

以上が、一般会計の決算の概要です。

認定第 2 号から認定第 9 号までの特別会計、公営企業会計の決算につきましては、資料に詳細を記載しておりますのでご覧ください。

次に、報第 9 号 令和5年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告につきましては、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、健全化判断比率、及び資金不足比率を議会に報告するものです。

裾野市の比率は、いずれも国が定めた基準を下回っており、裾野市の財政状況は、国の定めた健全化判断比率では、引き続き「健全」となっています。

次に、第 65 号議案 令和6年度裾野市一般会計補正予算(第 5 回)につきましてご説明申し上げます。お手元の資料「補正予算(第 5 回)説明書」をご覧ください。

今回の補正予算は、既定の予算総額に 5 億 3,200 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 228 億 5,000 万円とするものです。

歳入の主な内容は、定額減税及び償却資産の精査により市税で 2 億 8,435 万 4,000 円の増、交付金の確定により地方特例交付金で 1 億 5,770 万 9,000 円の減、普通交付税の確定により地方交付税で 6,399 万 5,000 円の増、児童手当法の改正により国庫支出金で 1 億 2,331 万 6,000 円の増となります。繰入金では、繰越金確定に伴う財政調整基金繰入金の減額により 1 億 9,291 万 7,000 円の減額、繰越金では実質収支の確定により 4 億 9,012 万 1,000 円の増額、市債では、普通交付税の算定額確定に伴う臨時財政対策債の発行可能額の確定により 1 億 434 万 4,000 円の減額を行うものです。

次に歳出の主な事業としまして、

まず、総務費では、住民基本台帳ネットワークシステムの更新をおこなうため戸籍住民基本台帳費を 808 万円増額します。また、災害対応としてデジタル田園都市国家構想交付金活用事業を活用しドローンを配備することから、ドローンスクールにて市職員 4 名をオペレーターとして養成いたします。

民生費では、児童手当法の改正にともない高校生まで児童手当を給付するため児童手当事業費を 1 億 4,900 万円増額します。

衛生費では、带状疱疹ワクチン接種費用助成事業の接種実績と今後の接種見込から予防事業費を 1,114 万 8,000 円増額いたします。また、裾野赤十字病院をはじめとする地域医療のあり方に関する検討会を設置いたします。

土木費では、適地調査の結果を受けて新東名高速道路スマートインターチェンジ事業計画の概略を検討するため道路橋梁総務費を 1,994 万 5,000 円増額いたします。

また、市営水泳場跡地を公園として整備し、市民の憩いの場を創出及び御師公園事業の事業計画を変更するため、公園管理費を 4,847 万 6,000 円増額いたします。市立水泳場跡地については、想定以上の少子化に伴うこども園誘致の中止を決定してから、利用方法について改めて検討を深めてまいりました。

その結果、せせらぎ児童公園やすこっぴをはじめ、公共施設が周辺に集まる立地を活かせること、富士山や黄瀬川、桜並木など裾野市の四季を感じることができることなどから、せせらぎ児童公園を拡張し、市民の憩いの場を創出することとしました。

比較的樹木の多い既存の公園とは違い、芝生の広場をメインとし、遊びの自由度を高めることにより、ご家族連れでも楽しめる空間づくりを行ってまいります。今回の補正予算では芝生整備を中心に実施しますが、今後は民間活力の導入による魅力や利便性の向上策も検討してまいります。

このほか、橋梁長寿命化修繕計画の見直しに向けた橋梁維持費の増額を行います。

このほか、令和 5 年度決算確定により 4 億 6,000 万円を財政調整基金に積立を行います。

以上が補正予算の概要です。

その他の条例改正などに関する議案につきましては、お配りした資料をご覧ください。